

No.67

津地区の景況調査

平成27年下期実績と平成28年上期見通し
(平成28年1月調査)

小規模企業における事業計画と景況の現状 (付帯調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	売上の現状	8
4	利益状況	9
5	販売条件と仕入条件	10
6	設備投資	12
7	資金繰りの動向	12
8	借入の動向	14
9	借入予定と借入希望先	14
10	経営上の問題点	16
11	小規模企業における事業計画作成と景況の現状（付帯調査）	18
	調査票	20

I. 調査概要

1. 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,141企業を対象に実施。
3. 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
4. 調査期間 平成28年1月4日～1月15日
5. 調査対象期間 平成27年7～12月実績と平成28年1～6月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業 321（回収集計率 14.9%）
うち小規模企業 191
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

D I - Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

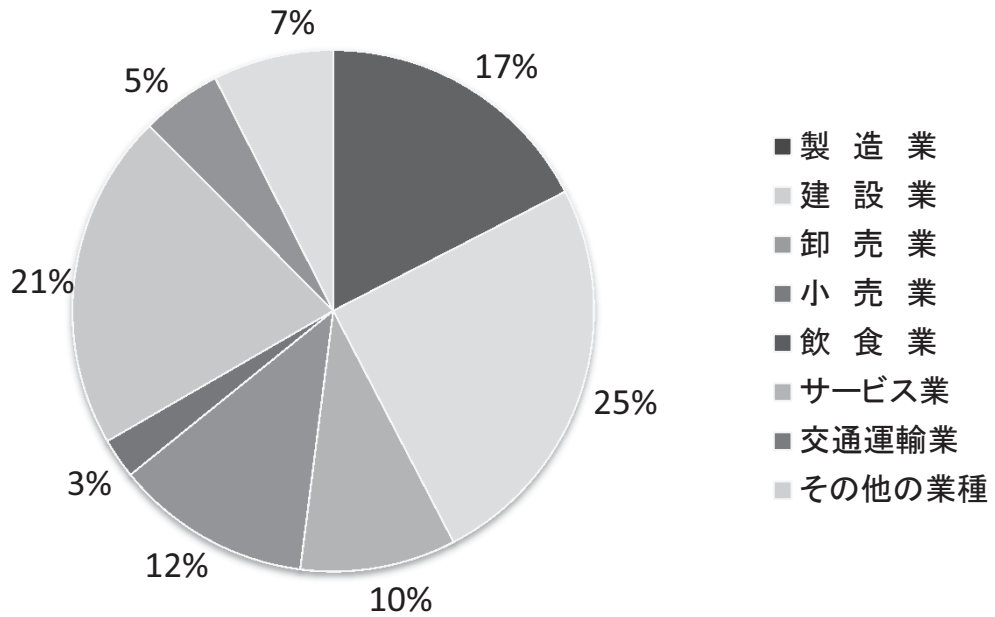
B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

回答状況

業種別回答比率



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	131 40.8	102 31.8	44 13.7	12 3.7	32 10.0	0 0.0	321
製造業	15 26.8	19 33.9	7 12.5	4 7.1	11 19.6	0 0.0	56
建設業	33 41.3	32 40.0	11 13.8	1 1.3	3 3.8	0 0.0	80
卸売業	11 35.5	10 32.3	7 22.6	1 3.2	2 6.5	0 0.0	31
小売業	20 51.3	9 23.1	3 7.7	1 2.6	6 15.4	0 0.0	39
飲食業	7 87.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8
サービス業	28 41.8	22 32.8	10 14.9	2 3.0	5 7.5	0 0.0	67
交通運輸業	1 6.3	6 37.5	3 18.8	3 18.8	3 18.8	0 0.0	16
その他の業種	15 62.5	3 12.5	2 8.3	0 0.0	4 16.7	0 0.0	24

全 産 業 D I

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
26年7月～12月 実績	△ 16.4	△ 10.2	△ 18.1	△ 18.1	△ 24.2	△ 8.9
27年1月～6月 実績	△ 26.5	△ 27.2	△ 27.7	△ 20.2	△ 27.1	△ 14.1
27年7月～12月 実績	△ 13.6	△ 16.5	△ 15.6	△ 18.0	△ 14.1	△ 8.7
28年1月～6月 見通し	△ 24.5	△ 24.3				△ 14.1

産 業 別 D I (27年7～12月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 10.8	△ 5.4	△ 12.6	△ 17.9	△ 19.6	△ 7.2
建 設 業	△ 11.3	△ 13.8	△ 18.8	△ 12.5	△ 17.6	△ 1.3
卸 売 業	△ 35.5	△ 35.6	△ 41.9	△ 29.1	△ 29.1	△ 16.2
小 売 業	△ 10.2	△ 23.1	△ 10.2	△ 25.6	△ 12.8	2.6
飲 食 業	0.0	△ 25.0	△ 12.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0
サービス業	△ 20.9	△ 23.9	△ 13.4	△ 12.0	△ 11.9	△ 13.4

Ⅱ. 調 査 結 果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

※平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現 状

全産業の業況判断D Iは、今期実績値△13.6は前期△26.5と比べ、12.9ポイントの改善となった。前年同期と同じ水準までの回復となった。小規模企業は△14.7となっており、前期△33.2と比べ18.5ポイントの改善となった。全体の業種別ではサービス業で横ばいのほか、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業で改善となった。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断D Iは△24.5と、今期の現状実績値△13.6と比較して悪化の見通しを示している。小規模企業でも△27.2の見通しで、今期の現状実績値△14.7より悪化であり慎重な見通しを示している。小規模企業での卸売業では若干の回復の見通しとなっている。













表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	26年7月～12月	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月
全 産 業	△ 16.4	△ 26.5	△ 13.6	△ 24.5
	△ 16.3	△ 33.2	△ 14.7	△ 27.2
製 造 業	△ 19.0	△ 22.7	△ 10.8	△ 23.2
	△ 18.9	△ 32.4	△ 8.9	△ 32.4
建 設 業	△ 7.6	△ 29.3	△ 11.3	△ 23.7
	△ 8.8	△ 37.5	△ 9.2	△ 21.5
卸 売 業	△ 23.1	△ 53.3	△ 35.5	△ 38.7
	△ 20.0	△ 55.5	△ 54.6	△ 45.5
小 売 業	△ 25.6	△ 18.3	△ 10.2	△ 33.3
	△ 24.0	△ 25.0	△ 30.0	△ 35.0
飲 食 業	△ 25.0	△ 75.0	0.0	△ 12.5
	△ 25.0	△ 66.7	14.3	△ 14.3
サービ業	△ 8.2	△ 20.6	△ 20.9	△ 24.0
	△ 14.8	△ 29.7	△ 10.7	△ 25.0

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	26年7月～12月	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				

卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景気判断 DI

50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図-1 津地区の経営の現状と見通し

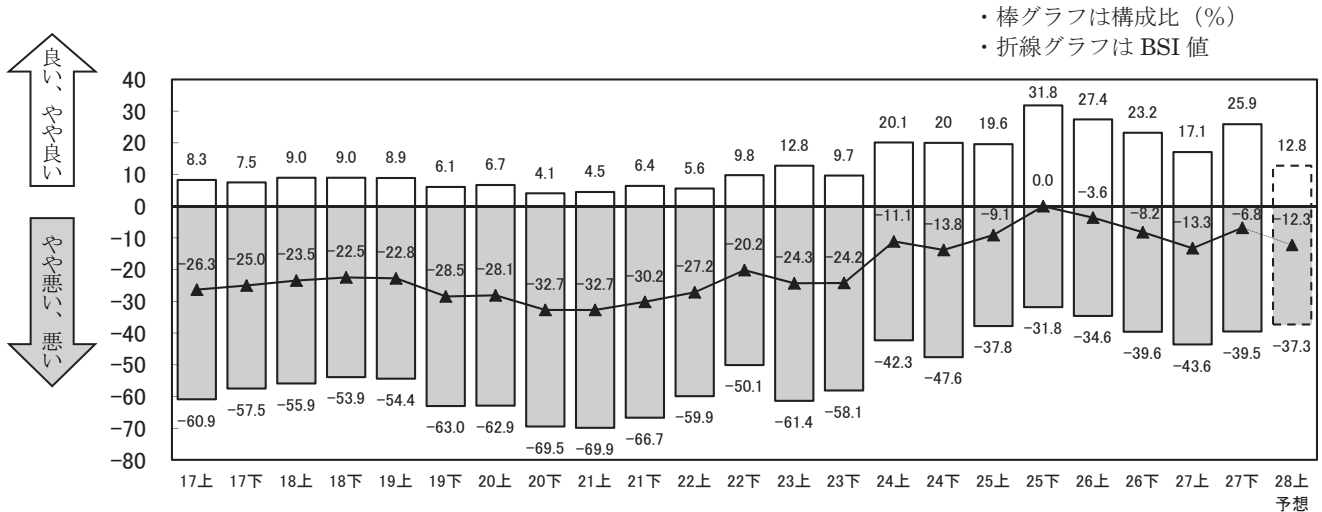
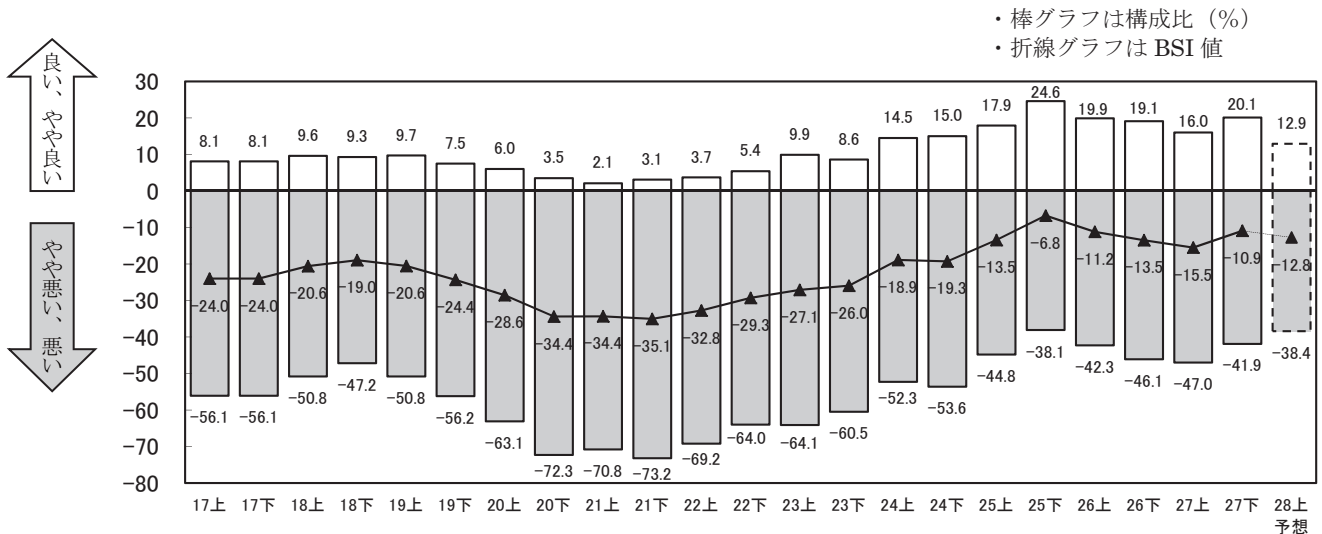


図-2 三重県下の経営現状と見通し



2. 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

(1) 今期の動向

全産業の売上DIは今期△16.5、前期△27.2と比べ10.7ポイントの改善となった。業種別で見るとサービス業は緩やかに下降しているが、その他の業種は数値を改善させている。中でも製造業では最も数値が良く△5.4となった。同じく小規模企業の製造業でも△8.8となり改善を示している。

(2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断DIは△24.3、今期の現状実績値△16.5と7.8ポイント悪化する見通しとなっている。業種別では、サービス業が横ばい、その他の業種は悪化の見通しとなっている。小規模企業では卸売業と小売業は改善の見通しを示しており、その他の業種と違う動きを示している。





















表－2 最近の売上と今後の見通し









	実 績			今後の見通し
	26年7月～12月	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月
全 産 業	△ 10.2	△ 27.2	△ 16.5	△ 24.3
	△ 12.6	△ 32.1	△ 22.0	△ 25.7
製 造 業	△ 13.8	△ 18.2	△ 5.4	△ 16.0
	△ 16.2	△ 18.9	△ 8.8	△ 23.6
建 設 業	6.0	△ 25.4	△ 13.8	△ 24.9
	1.8	△ 32.9	△ 17.0	△ 21.5
卸 売 業	△ 7.7	△ 56.6	△ 35.6	△ 42.0
	△ 10.0	△ 66.6	△ 63.6	△ 54.6
小 売 業	△ 9.3	△ 39.4	△ 23.1	△ 33.2
	△ 12.0	△ 45.0	△ 40.0	△ 30.0
飲 食 業	△ 25.0	△ 75.0	△ 25.0	△ 25.0
	△ 25.0	△ 66.6	△ 14.3	△ 14.3
サービス業	△ 14.8	△ 17.8	△ 23.9	△ 22.4
	△ 22.2	△ 21.6	△ 24.9	△ 25.0

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	26年7月～12月	27年1月～6月	27年7月～12月	28年1月～6月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業				


飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

D I = 好転 (良い、やや良い) の割合 - 悪化 (やや悪い、悪い) の割合 △はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

※表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示

快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



景気判断 D I

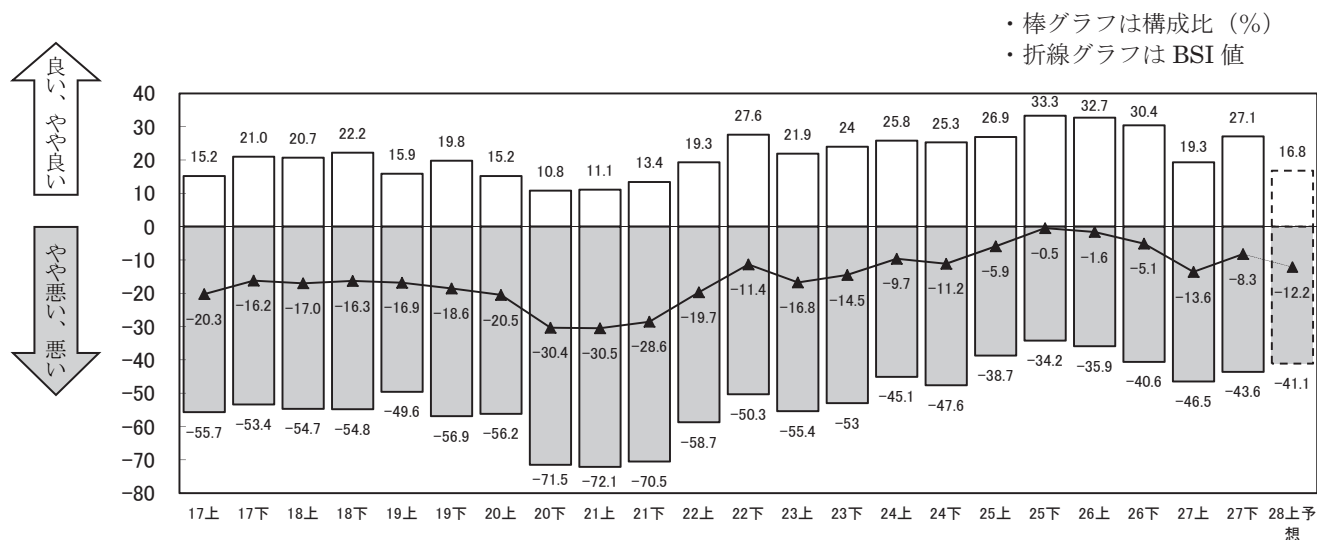
50以上100	25以上	0 以上	△25以上	△50以上	△100
	50未満	25未満	0 未満	△25未満	△50未満

3. 売上の現状（図－3・4参照）

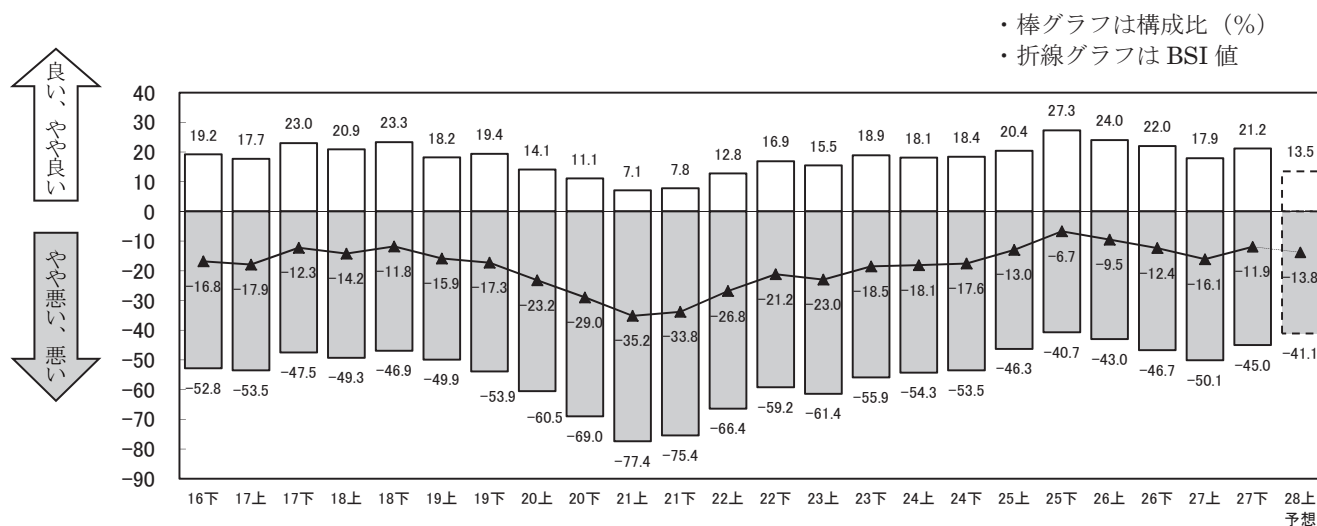
今期売上が増加した企業は全体で321企業中87企業27.1%（前期19.3%）、小規模企業では191企業中28企業14.6%（前期14.5%）。全体では増加、小規模企業では横ばいの結果となった。

一方、今期売上が減少した企業は321企業中140企業43.6%（前期46.4%）、小規模企業では191企業中77企業40.3%（前期46.6%）。全体、小規模企業ともに減少となった。

図－3 津地区の売上の現状と見通し



図－4 三重県下の売上の現状と見通し



4. 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断D Iは△15.6と前期△27.7に比べ12.1ポイント改善した。業種別で見ると製造業が前期に引き続き改善しており、小売業とともに改善している。小規模企業では今期△23.1と前期△31.5と8.4ポイントの改善となった。特に製造業では継続して改善しており、今期は7.4ポイントの改善、サービス業では20.8ポイントの改善となった。

表－3 利益状況

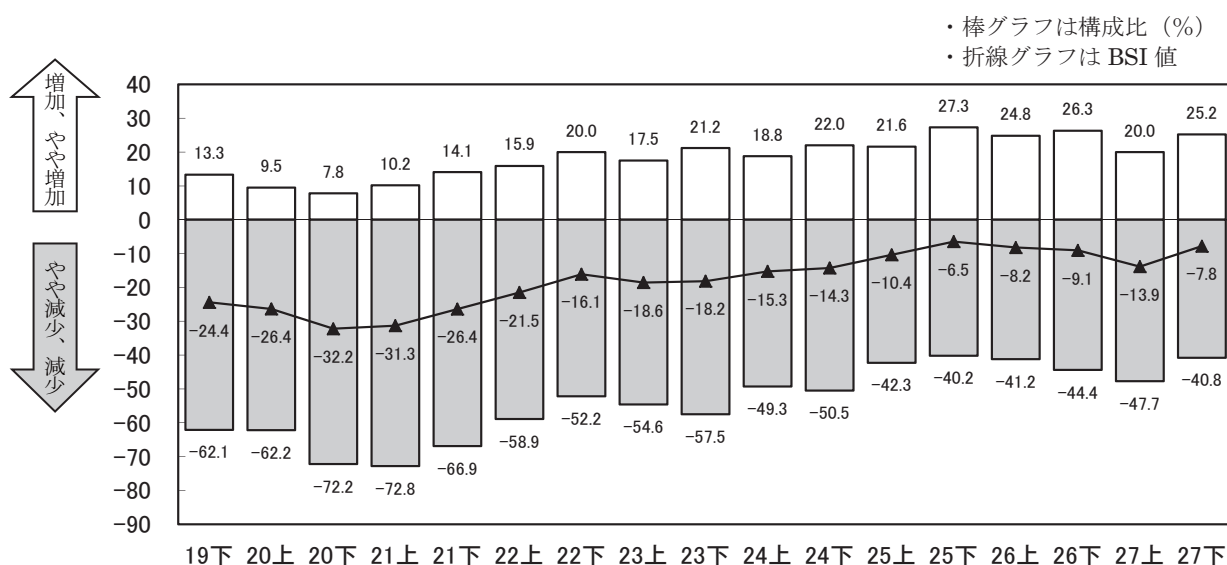
	実 績		
	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全 産 業	△ 18.1 △ 21.8	△ 27.7 △ 31.5	△ 15.6 △ 23.1
製 造 業	△ 22.4 △ 29.7	△ 13.6 △ 16.2	△ 12.6 △ 8.8
建 設 業	△ 6.1 △ 8.7	△ 30.7 △ 36.0	△ 18.8 △ 24.5
卸 売 業	△ 30.8 △ 20.0	△ 50.0 △ 66.6	△ 41.9 △ 72.7
小 売 業	△ 23.2 △ 24.0	△ 21.2 △ 20.0	△ 10.2 △ 25.0
飲 食 業	△ 25.0 △ 25.0	△ 25.0 0.0	△ 12.5 △ 14.3
サービ業	△ 13.2 △ 25.9	△ 26.0 △ 35.1	△ 13.4 △ 14.3

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

図－5 利益状況



5. 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売条件判断DIは△18.0と前期△20.2に比べ2.2ポイント上昇となった。業種別で見るとサービス業では8.5ポイント上昇しているが、製造業では5.7ポイント下降となった。小規模企業では、製造業が△11.7と前回より4.5ポイント改善しており、サービス業については前期△24.3から今期△3.6へ20.7ポイント改善し、改善幅が最も大きかった。

表－4 販売条件

	実 績		
	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全 産 業	△ 18.1	△ 20.2	△ 18.0
	△ 15.9	△ 22.8	△ 18.3
製 造 業	△ 24.2	△ 12.2	△ 17.9
	△ 18.9	△ 16.2	△ 11.7
建 設 業	△ 10.6	△ 17.4	△ 12.5
	△ 8.8	△ 23.4	△ 16.8
卸 売 業	△ 19.3	△ 40.0	△ 29.1
	△ 10.0	△ 44.4	△ 36.4
小 売 業	△ 25.7	△ 18.2	△ 25.6
	△ 16.0	△ 10.0	△ 25.0
飲 食 業	0.0	△ 50.0	△ 50.0
	0.0	△ 66.6	△ 42.9
サービス業	△ 18.1	△ 20.5	△ 12.0
	△ 22.2	△ 24.3	△ 3.6

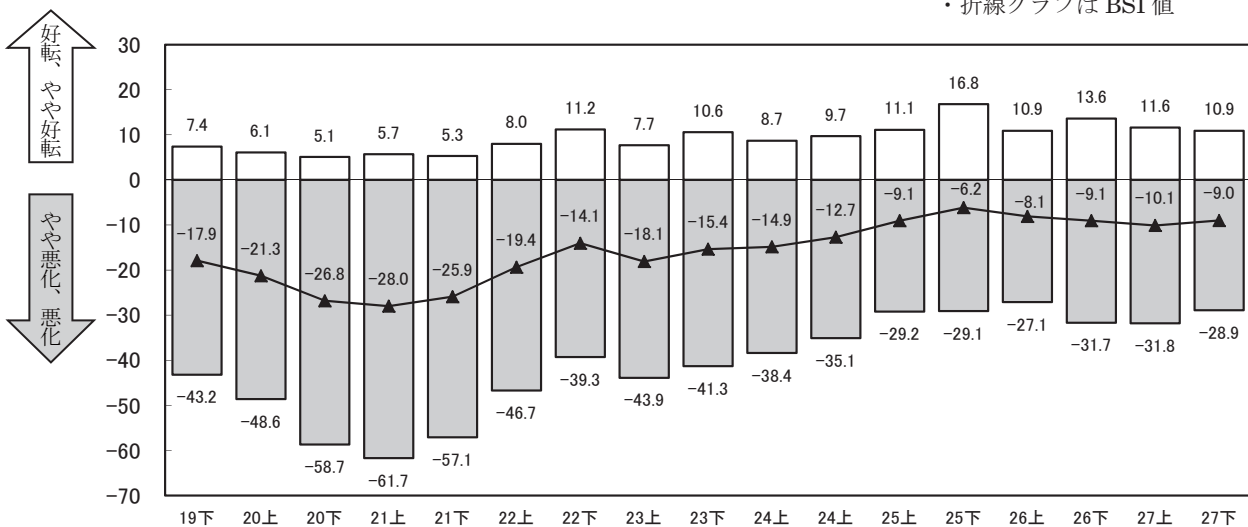
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段()内DI値は小規模企業

図－6 販売条件

・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表-5、図-7 参照)

全産業の仕入条件判断DIは△14.1と前期△27.1に比べ、13.0ポイントの改善となった。業種別で見ると小売業が29.7ポイントと最も改善しており、その他の業種でも改善が見られた。小規模企業でも小売業は△10.0であり前回は△45.0と全業種中最も低い数値であったが、大きく改善する結果となった。また図-7によると「好転」「やや好転」と回答した割合は6.2%であり、過去10年ほどで最も高い数値となり、仕入条件の改善が窺える。

表-5 仕入条件

	実 績		
	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全産業	△ 24.2 △ 23.5	△ 27.1 △ 28.5	△ 14.1 △ 15.7
製造業	△ 36.2 △ 37.8	△ 30.4 △ 40.5	△ 19.6 △ 20.6
建設業	△ 13.7 △ 10.4	△ 25.3 △ 28.2	△ 17.6 △ 18.5
卸売業	△ 34.6 △ 30.0	△ 33.3 △ 44.4	△ 29.1 △ 18.2
小売業	△ 25.5 △ 24.0	△ 42.5 △ 45.0	△ 12.8 △ 10.0
飲食業	△ 50.0 △ 50.0	△ 25.0 0.0	△ 50.0 △ 57.2
サービス業	△ 19.7 △ 25.9	△ 21.9 △ 16.2	△ 11.9 △ 10.8

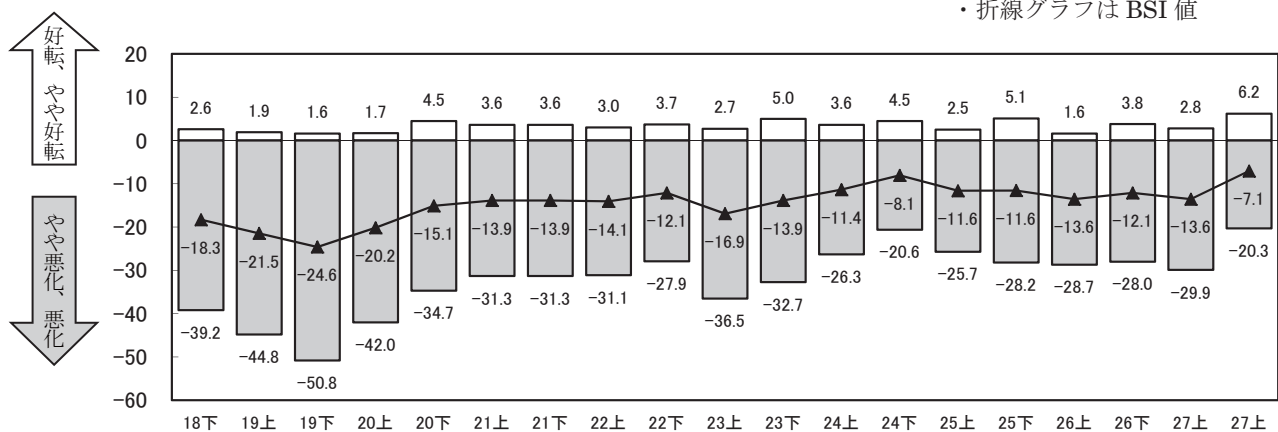
DI=好転(高い)の割合-悪化(低下)の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-7 仕入条件

・棒グラフは構成比(%)
・折線グラフはBSI値



6. 設備投資（表－6参照）

(1) 今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、321企業中90企業28.0%と前期27.7%と比べ、横ばいとなった。前期に割合を上げた製造業は今期も高い数値を示しており、小売業も数値を大きく伸ばした。小規模企業においては、建設業が緩やかに実施割合を増加させている。

(2) 来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は321企業中83企業25.9%と今期実績値28.0%に比べ減少の見通しとなっている。小売業は今期大きく数値を増加させたが、来期では減少の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

(単位：%)

	実 績			来期計画
	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期
全 産 業	28.7	27.7	28.0	25.9
	15.8	20.2	15.7	14.1
製 造 業	25.9	45.5	39.3	42.9
	10.8	27.0	17.6	35.3
建 設 業	22.7	22.7	23.8	18.8
	15.8	17.2	18.5	9.2
卸 売 業	23.1	23.3	19.4	19.4
	20.0	0.0	9.1	9.1
小 売 業	25.6	24.2	33.3	17.9
	4.0	10.0	10.0	0.0
飲 食 業	0.0	25.0	0.0	12.5
	0.0	33.3	0.0	0.0
サービス業	44.3	21.9	25.4	22.4
	37.0	18.9	21.4	10.7

※下段の値は小規模企業

7. 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

(1) 今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断DIは△8.7と前期△14.1に比べ5.4ポイントの改善となった。前年同期が△8.9であることから同水準までの回復となった。業種別では製造業では改善が見られ、2期連続での回復となった。小規模企業でもサービス業は数値を下げたものの、その他の業種は改善を示した。回復を続けてきた建設業は前回大きく数値を悪化させたが、今回調査では持ち直しを見せた。

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断D Iは△14.1と今期実績値△8.7に比べ、5.4ポイント減少の見通しで、大幅な改善は見込まれていない。業種別ではほとんどの業種は今回調査で改善を示したためか、来期では数値を下げる見通しとなっている。

表-7 資金繰り

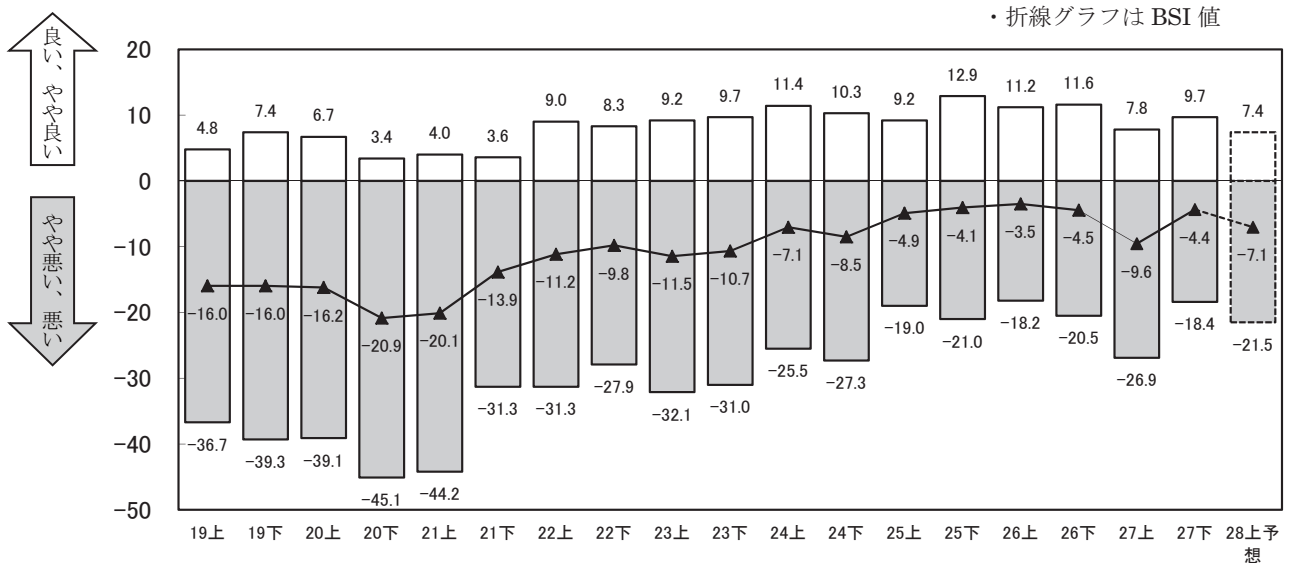
	実 績			来期見通し
	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期	28年1月～6月期
全 産 業	△ 8.9	△ 14.1	△ 8.7	△ 14.1
	△ 9.4	△ 19.1	△ 13.7	△ 18.3
製 造 業	△ 20.6	△ 13.6	△ 7.2	△ 14.2
	△ 24.3	△ 16.2	△ 11.8	△ 26.4
建 設 業	10.7	△ 13.3	△ 1.3	△ 12.4
	10.5	△ 21.8	△ 4.6	△ 12.3
卸 売 業	△ 7.6	△ 16.7	△ 16.2	△ 19.5
	0.0	△ 33.3	△ 27.3	△ 27.3
小 売 業	△ 16.3	△ 12.2	2.6	△ 5.1
	△ 16.0	△ 20.0	0.0	△ 5.0
飲 食 業	△ 25.0	△ 75.0	△ 25.0	△ 25.0
	△ 25.0	△ 66.6	△ 28.6	△ 28.6
サービス業	△ 13.2	△ 10.9	△ 13.4	△ 16.4
	△ 14.8	△ 10.8	△ 17.9	△ 17.8

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

図-8 資金繰りの現状と見通し



8. 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度判断DIは22.7と前期12.2に比べ10.5ポイントの改善となった。小規模企業では17.5と前期より6.8ポイント回復の数値となった。業種別では、卸売業が4期連続して回復しており、製造業でも回復が見られる。製造業は最も改善幅が大きく、18.0ポイントの回復となった。

表－8 借入の難易度

	実 績		
	26年7月～12月期	27年1月～6月期	27年7月～12月期
全 産 業	11.4 7.5	12.2 10.7	22.7 17.5
製 造 業	3.1 0.0	14.3 25.0	32.3 42.1
建 設 業	16.2 3.3	17.5 12.5	18.2 12.1
卸 売 業	25.0 25.0	31.5 0.0	41.2 0.0
小 売 業	13.1 11.1	33.3 33.3	32.0 11.1
飲 食 業	0.0 0.0	△ 50.0 △ 100.0	△ 25.0 △ 33.3
サービス業	3.3 33.3	△ 3.1 0.0	3.6 16.7

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

9. 借入予定と借入希望先（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は321企業中77企業で全体の24.0%、前期は21.2%、前年同期で19.8%であり、借入希望は増加傾向である。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は71.4%と前期76.5%、前年同期77.6%と横ばいである。公的金融機関は22.1%であり、前期23.5%、前年同期19.0%となっており増減を繰り返している。

資金使途では運転資金は62.3%（前期64.7%、前年同期62.1%）、設備資金35.1%（前期33.8%、前年同期37.9%）となっており、今期では設備資金への需要増加が見て取れる。

図-9-① 借入予定

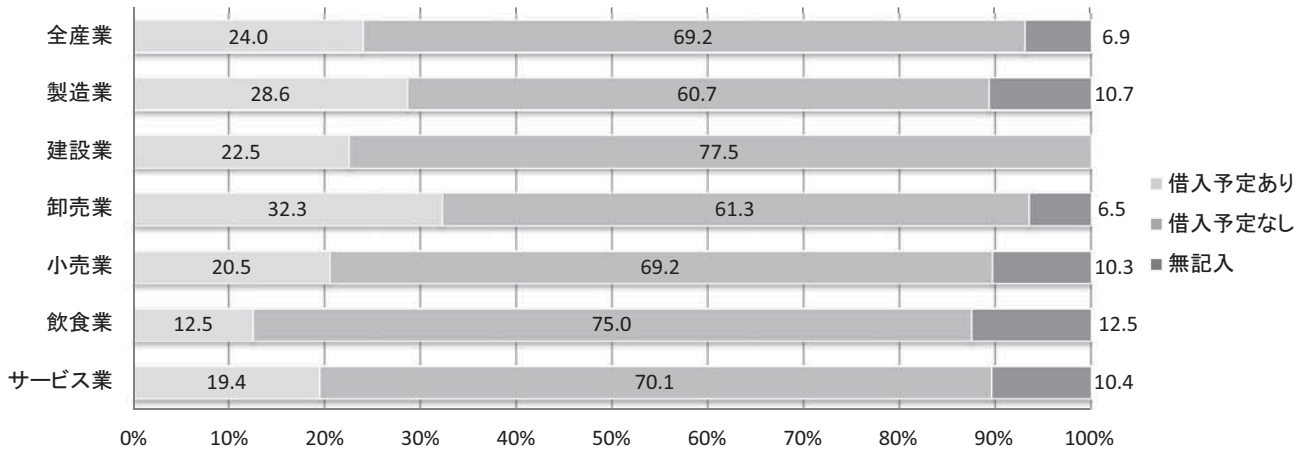


図-9-② 借入希望先

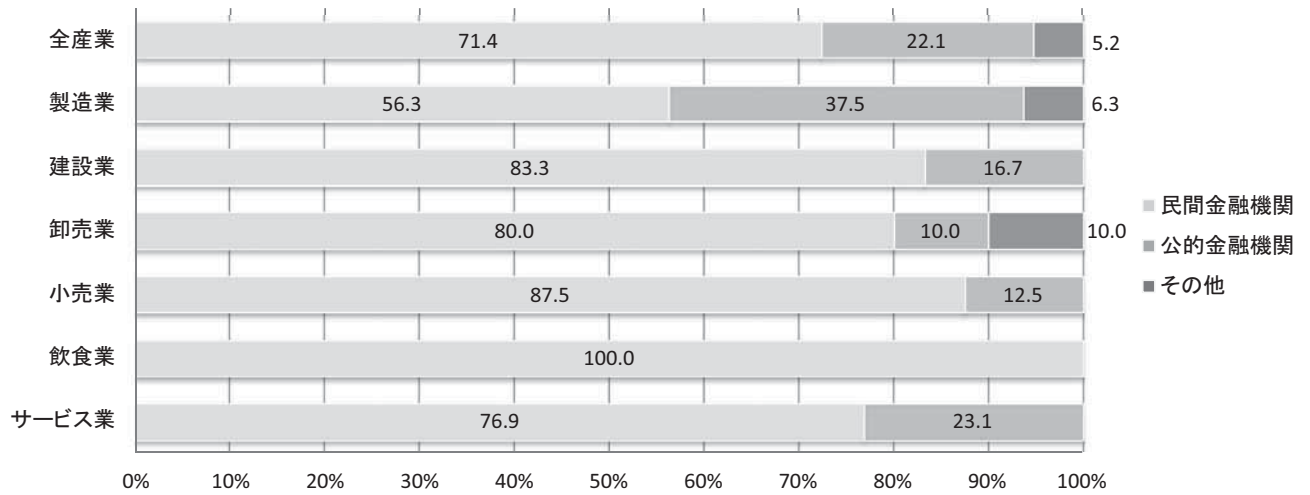
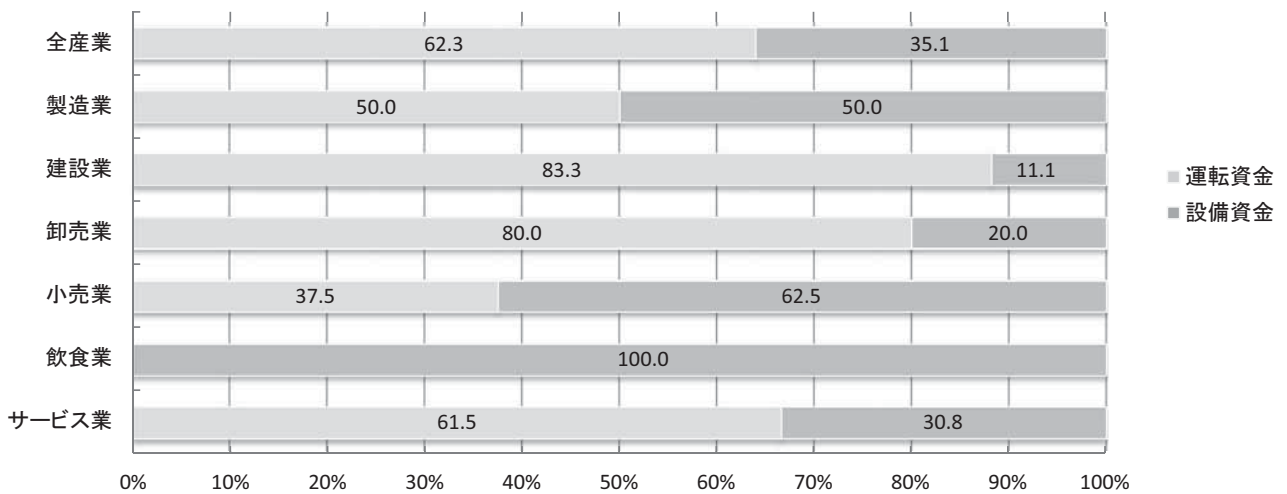


図-9-③ 借入資金の使途予定

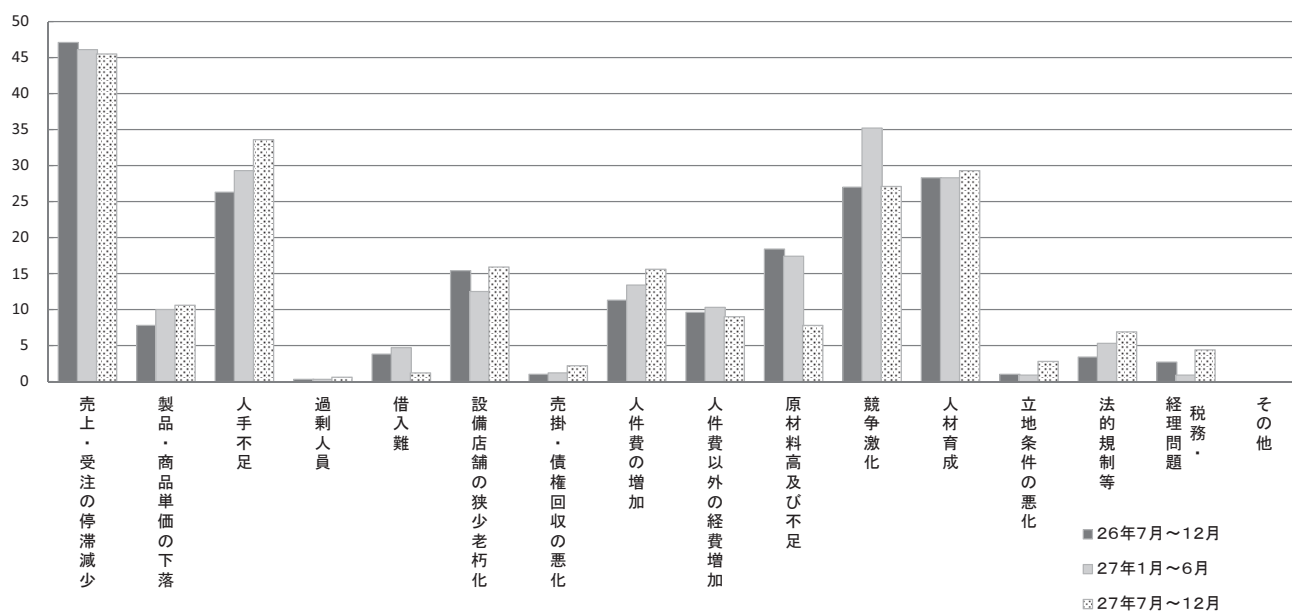


10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（図－10、表－9参照）

全産業の経営上の問題点は1位は25期連続で「売上・受注の停滞・減少」となったが、2位は「人手不足」、3位は「人材育成」となった。「競争激化」は前期2位であったが、今期は4位と順位を下げた。「人手不足」は増加傾向であり、「人材育成」と並んで人材確保が焦点として捉えられている。「原材料高及び不足」は下げ幅が最も大きく原材料高や不足感が解消されている模様である。その他、「借入難」の数値も減少しており、借入難易度も軟化していることが伺える。業種別で見るとサービス業では、「競争激化」が順位を下げている。

図－10 全産業・経営上の問題点

(単位：%)



表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

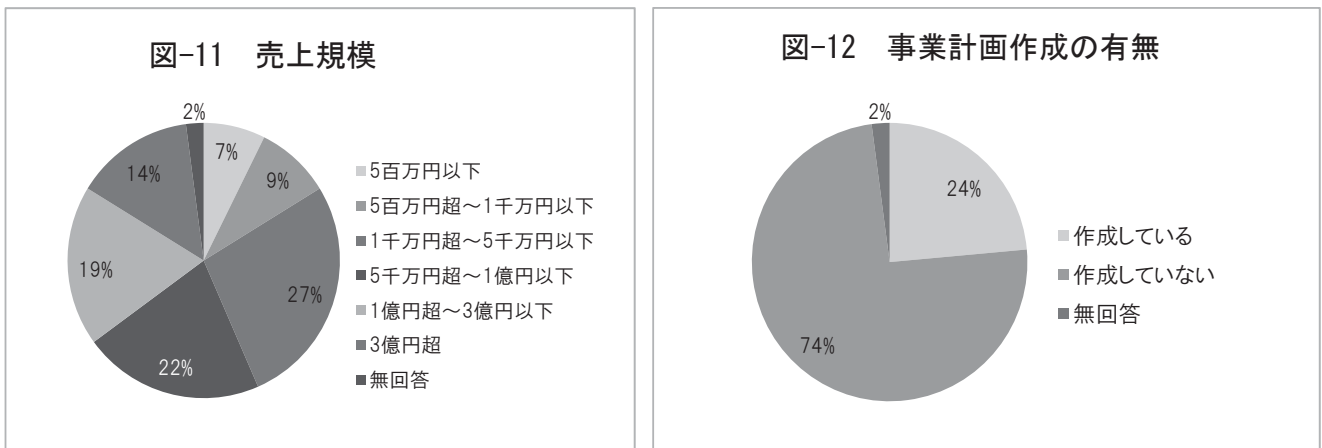
順位 産業		27年1月～6月期			27年7月～12月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 46.1	競争激化 35.2	人手不足 29.3	売上・受注の 停滞減少 45.5	人手不足 33.6	人材育成 29.3
	製造業	売上・受注の 停滞減少 39.4	原材料高 及び不足 25.8	競争激化 25.8	売上・受注の 停滞減少 44.6	人材育成 28.6	設備店舗の 狭小老朽化 26.8
	建設業	売上・受注の 停滞減少 46.7	人手不足 45.3	競争激化 32.0	売上・受注の 停滞減少 45.0	人手不足 45.0	人材育成 28.8
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 63.3	競争激化 53.3	人材育成 30.0	売上・受注の 停滞減少 54.8	競争激化 35.5	人材育成 29.0
	小売業	売上・受注の 停滞減少 51.5	競争激化 36.4	人手不足 24.2	売上・受注の 停滞減少 48.7	人手不足 38.5	競争激化 33.3
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 50.0	人手不足 50.0	設備店舗の 狭小老朽化 50.0	売上・受注の 停滞減少 62.5	設備店舗の 狭小老朽化 50.0	原材料高 及び不足 37.5
	サービス業	競争激化 43.8	売上・受注の 停滞減少 38.4	人手不足 35.6	売上・受注の 停滞減少 41.8	人材育成 29.9	人手不足 29.9

11. 小規模企業における事業計画作成と景況の現状（付帯調査）

※小規模企業（中小企業基本法第2条第5項に規定する従業員20人以下（商業・サービス業は5人以下）の事業者等を指します。）に対して事業計画の策定の有無や景況感について付帯調査を実施。（売上規模は図-11）

（1） 売上規模と事業計画作成の有無（図-11・12）

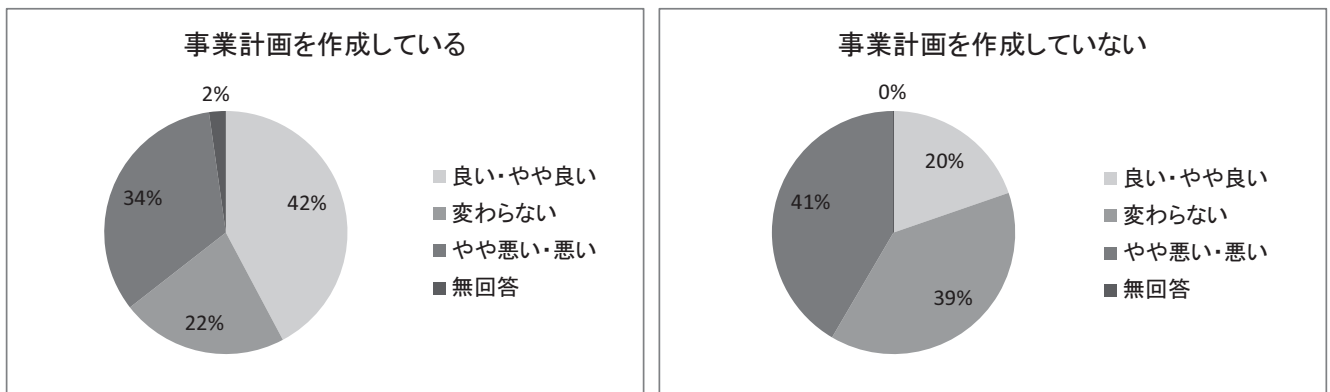
小規模企業の事業計画作成の有無は、74%が「事業計画を作成していない」という高い結果となった。（図-12）



（2） 事業計画作成の有無と現状について（図-13）

現状について（平成27年7～12月の業況は、前年同期に比べ）事業計画作成の有無別に集計した結果、「事業計画を作成している」小規模企業の業況は、「良い・やや良い」の割合は42%であり、「事業計画を作成していない」小規模企業の「良い、やや良い」と回答した割合の20%と比較して22ポイント高い結果となった。（図-13）

図-13 現状について（平成27年7～12月の業況は前年同期に比べ）



(2) 事業計画作成の有無と売上状況・利益状況について (図-14・15)

同様に売上状況 (平成 27 年 7~12 月の売上は前年同期に比べ)・利益状況 (平成 27 年 7~12 月の利益は前年同期に比べ) についても集計した結果、事業計画を作成している小規模企業の売上・利益は、「増加・やや増加」の割合が高い結果となった。(図-14 図-15)

津管内の小規模企業は、事業計画を作成している割合は少ないものの、事業計画を作成している小企業企業の方が、景況感 (業況・売上・利益) の良い割合が高いことが、明確に表れた結果となった。

図-14 売上状況について(平成27年7~12月の売上は前年同期に比べ)

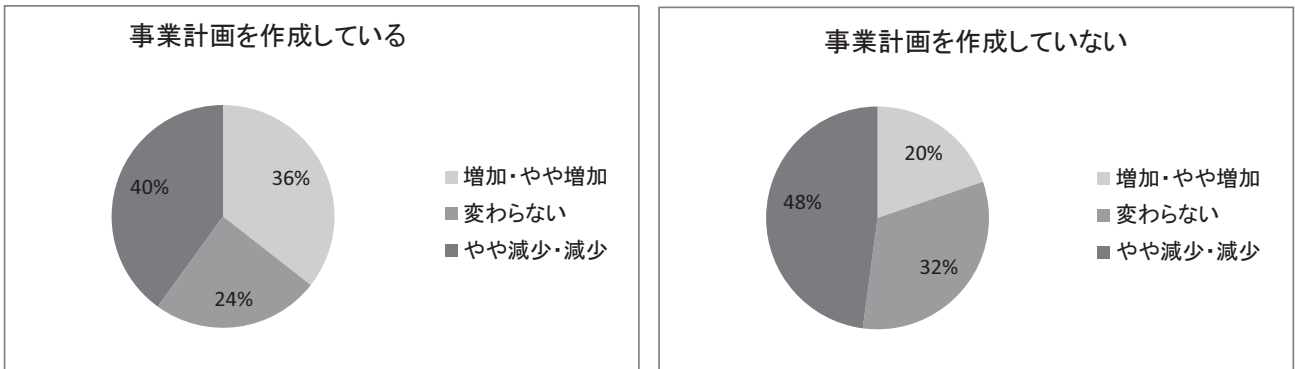
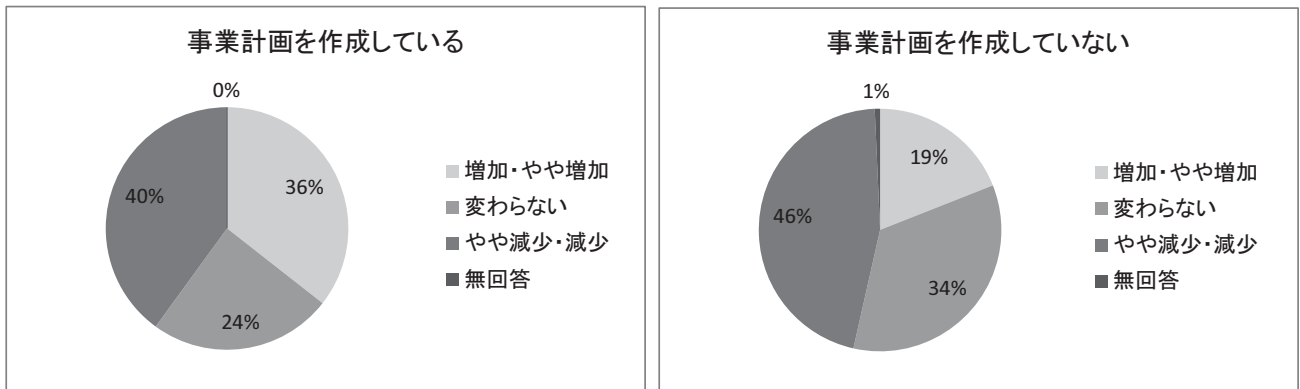


図-15 利益状況について(平成27年7~12月の利益は前年同期に比べ)



景況調査票

平成 28 年 1 月

会議所	N o.

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他()		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0 ~ 5 人	2. 6 ~ 20 人	3. 21 ~ 50 人	4. 51 ~ 100 人	5. 101 人以上
------------	-------------	--------------	---------------	------------

直近 決算時における売上高

1. 5 百万円以下	2. 5 千万円超 ~ 1 千万円以下	3. 1 千万円超 ~ 5 千万円以下	4. 5 千万円超 ~ 1 億円以下	5. 1 億円超 ~ 3 億円以下	6. 3 億円超
------------	---------------------	---------------------	--------------------	-------------------	----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について…平成 27 年 7 ~ 12 月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪	い
------	---------	----------	---------	------	---

理由:

4. 今後の見通しについて…平成 28 年 1 ~ 6 月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪	い	6. わからない
------	---------	----------	---------	------	---	----------

理由:

5. 売上状況について…平成 27 年 7 ~ 12 月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	少
------	---	---------	----------	---------	------	---

6. 売上の見通しについて…平成 28 年 1 ~ 6 月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	少	6. わからない
------	---	---------	----------	---------	------	---	----------

7. 利益状況について…平成 27 年 7 ~ 12 月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	少
------	---	---------	----------	---------	------	---

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成 27 年 7 ~ 12 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	化
------	---	---------	----------	---------	------	---

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成 27 年 7 ~ 12 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	---------	----------	---------	------	---	---------

10. 設備投資について

27 年 7 ~ 12 月の実績		28 年 1 ~ 6 月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成 27 年 7 ~ 12 月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	化
------	---	---------	----------	---------	------	---

12. 資金繰りの見通しについて…平成 28 年 1 ~ 6 月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	---------	----------	---------	------	---	----------

13. 借入の現状について…平成 27 年 7 ~ 12 月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14. 借入予定はありますか…(平成 28 年 1 ~ 6 月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば 3 つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. 事業計画・経営計画等 何らかの計画を作成していますか。

1. 作成している	2. 作成していない
-----------	------------

17. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

ご協力ありがとうございました。

津地区の景況調査 No.67

平成28年2月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665

